

# 会 議 要 録

会議の名称	酒田市芸術文化振興計画（仮称）検討委員会（第2回）
開催日時	平成29年8月29日（金） 午後7時 ～ 午後9時
場所	希望ホール 小ホール
出席者	<p>○アドバイザー 帝塚山大学名誉教授 中川 幾郎 氏</p> <p>○出席委員 工藤 幸治 委員、関矢 順 委員、田中 章夫 委員 土田 貴文 委員、五十嵐 真生 委員、 佐藤 百恵 委員、石井 諭 委員、 白旗 定幸 委員、大数見 貴子 委員</p> <p>○オブザーバー 村上教育長</p> <p>○事務局 菅原教育部長 （社会教育文化課） 阿部課長、阿部補佐、杉山主査、小松主査兼係長、 中里調整主任、浅井主任</p>
<p>1 開会（事務局）</p> <p>2 あいさつ（村上教育長）</p> <p>3 アドバイザーあいさつ ・多くの自治体の文化行政がこれまでなかなか進まなかったのは、自治体自身の集権的体質によるところが大きい。計画を明らかにすることによって、市民の信頼と議会の理解を得て、子どもや若者、高齢者、皆が元気な街を作っていくことができる。その手法を酒田も行おうとしている。 ・アートや芸術は投機ではない。命のエネルギー、息吹だと捉えてこの計画を作っていただきたい。公平・平等な芸術体験供給と垂直的な発信力を持った街にしようという議論とを混戦しないようにして計画づくりを進めていただきたいと願う。</p> <p>4 報告 （1）アンケートの実施結果について （2）インタビューの実施結果について</p>	

～事務局よりアンケート・インタビューの実施結果について説明～

#### 委員

アンケートの中で中間層や分からないと回答した層をどういうふうに捕えるか気になる。一番大事な問題を抱えている気がする。積極的に働きかける取り組みは後戻りできないと感じた。

#### 委員

アンケートの年齢層が高いことが一番気になった。10代、20代がアンケートを返さないほど関心を持っていないところはどうかしないといけない気がする。ツイッターやインスタグラムは若い人に情報発信する点では非常に大事。活用してみてもどうか。

#### 委員

活動をしたい、情報を知りたい人たちがたくさんいる。そういった人たちを取り込みたいと思う。インタビューの中で後継者がいないとあったが、即戦力になる若者がいるとすごく活力になるし続くといいなと思う。子どもに芸術活動に触れさせたいと皆すごく思っているが、そのためには親の理解が一番必要だと思う。

#### 委員

アンケートの結果を見て、酒田市民が結構受け身でいるなと思った。活動の場などを探すのではなく教えてもらうのを待っているという印象。芸術文化も敷居が高いものが多いのかなど。それによって参加者側とのミスマッチがあるような気がする。また、子どものうちに芸術文化に触れてほしいという思いがすごくある。子どもの頃から継続的に酒田で活動していけるような何かができたらいいと思う。

#### 委員

私は酒田の文化資源というところに着目していた。知っているのにあまり行ったことがないということは、せつかく資源があるのになかなか活かされていないということ。また、新しい資源だけでなく歴史的資源も有効活用して行って、横串を刺していく必要があるのではないかと思う。

#### 委員

非常に細やかに取っていただいたので市民の考えがすごくよく伝わり感心した。そのなかで出てきたのが2つある。ひとつは市の文化、地域の文化を実は大事にしていること。地域だけでは継承していくのは予算的に難しい状況になっているので、市の支援が必要となってきていると思う。同時に本物の文化、一流の文化に触れたい要求は常に持っているのに、様々な課題があつてそこに足を運んでいないだけではないかと感じた。ふたつめは、酒田のラーメン屋に人が並ぶように、付加価値をつけたイベントと芸術分野をコラボさせると、行ってみようかなというエネルギーができてくるのではないかということ。色んな人の呼び方、エネルギーの作り方が考えられるのかと思う。

#### 委員

細かく調査されていると非常に感心した。仕事をしている人たちがこれを書くのはなかなか難しいので、もう少しポイントを絞ってもよかった。どのように物事を発信していくかというのが一番重要なことで興味がないわけではない。SNSなどに関しては専門性が必要。もともと興味のないものを子どもに与えるのは非常に難しいこと。学校教育現場がかなり重要となってくるので、教育関係者の意識を高めていかないといけない。キーマンを育てるということが重要だと思う。

## 委員

このアンケート共感できるところがたくさんある。この小さい街で芸術を育てていくというのは子どもが一番だなと感じている。子どもたちに芸術を鑑賞させるという事業のなかで、子どもたちが本当に生き生きしている様子を目の当たりにした。一所懸命やっている人たちがやっていることを、子どもたちから見てもらい学んでいくのが大切。子どもが大人になったとき自分の体験をまた子どもたちに話して行って、膨らんでいくようなそういう街になってほしいと思う。

## 委員

全部私の中では大事にしなければならない項目だと思う。この中から課題を取り上げて施策に活かしていただきたい。それから、読むこと、聞くこと、見ること、触ること、そういう大事な部分の対応も今後必要なのかなと思っている。学習する場、習う場所、育ててくださる立場の考え方も聞く必要があるのではないかな。指導者の面からのヒヤリングももっとしてもよかったかなと思う。

## アドバイザー

それぞれ大変貴重なことをおっしゃっていただいた。柱ができてからでもいいのだが、表現の場所、交流する場所、学習の場所。この3方面で資源分析する必要があるかなと思う。それから連続でおっしゃった人的資源の視点が大事。ハードの分析だけでなく、ヒューマンウェアの分析もいるのではないかなという新しい視点が出てきた。ハードウェア、ソフトウェア、ヒューマンウェアの3つの資源でチェックをかけてみたいと思う。それを前提としつつ、次の計画の骨子を一度皆さん方から聞いてもらい、改めてご意見賜りたい。

## 5 協議

### (1) 基本的施策について

～事務局より基本的施策について説明～

## アドバイザー

市民文化政策と都市文化政策。この2つの柱の論理はまったく正反対なのだが、双方にブリッジがかかっている分野がある。それを整理していただいた。さきほど言った「ヒューマン、ソフト、ハード+表現、交流、学習」がきちんと果たされているか。こ

の施策の柱ごとに1回チェックをかけてみたら見えてくると思う。議会に対しても説明しやすい、市民に対しても分かりやすい言葉遣いと項目で示していると思う。このような進め方でいかがかという提案です。

#### 委員

都市文化政策と市民文化政策。2つに分けてまとめられていてとても分かりやすい。基本的施策20項目のなか、ひとつとして落とすことのできない項目が明記されているが、少し熱のあるロマンを持ったリーダーを人材育成することも施策の柱にもってこなくてはいけないのではと思う。

#### 委員

先ほどの話を聞いて思ったが、ラーメンなど食べ物の持つ力はすごいと思う。食文化はどちらにも関わっているので、これはひとつ推すところではないかと思う。

#### 委員

ひとつひとつ項目にすると自分がどういうところに関われるかなど見えてきた。

#### 委員

大変わかりやすく思う。酒田に生まれついた方も地域の建物や文化など地域のものを誇りにしていけるようなそういう取り組みができればと思う。

#### 委員

酒田市と武蔵野市は姉妹都市になっているかと思う。酒田の歴史の方が古いので、酒田市の方が資源がたくさんあるように思う。酒田にも並んでいるラーメン屋がたくさんある。食文化というのも文化のひとつであるので、文化もあるのかなというような気がしている。

#### 委員

こういった体系のなかで、具体的な施策までどういうふうにし込んでいくかが大変になるだろうと感じた。新規のものを具体的な施策で推していくために、自分がどのような意見を出せるか考えていたところ。とても分かりやすい体系図だと思った。

#### 委員

基本的施策が大変分かりやすくて良いと思った。これは基本的にインプットの部分。これをやることによって何を目標とするのか、最終的なアウトプットがどこに出てくるのかというようなことが一番重要。それがアンケートの数値の改善につながっていくのかなと考えている。

#### 委員

大変分かりやすい。先日ユネスコのジオパーク巡りの視察に行ってきたが、酒田のことを知ってもらい、繋げていくという目的のなかでどれも関係あるなと思い嬉しい。子どもたちの育成にも活かしていけたらいいなと思う。

#### 委員

水平的文化施策と垂直的文化施策は、酒田の施策に絶大なる大事なことを構築してい

るが、このへんの文言の解釈も徹底する必要があるのではないかと思う。芸術文化に関わる部分を総合計画にも提案した方がよいか。

#### 事務局

委員からご意見を言っていただければ非常に助かる。

#### アドバイザー

目的や基本目標は調整した方がよいのではないか。総合計画とすり合わせができた方が筋が通ると思う。

#### 事務局

ギリギリまで調整させていただく。ただ、現段階では総合計画には都市文化政策が入っていないので、芸術文化振興計画の方でフォローしていくしかないと思っている。

#### アドバイザー

これだけ納得出来る素晴らしい計画なので、総合計画の方に反映されるべきでないかと改めてお褒めの言葉をいただいたということ。特に新規事業がどういうふうに出てくるかというところが、皆さん気になる場所かと思う。この基本骨子を基にした作業を進めていって、10月、11月にご討議するというところでよろしいか。追加で発言希望あれば。

#### 委員

現代は重層的、多層的な成熟した社会。単純に垂直的、水平的では割り切れない。重層的、多層的のキーワードを入れないといけないと思うのだが。

#### アドバイザー

私も同感。市民文化政策はむしろ土台にあるべきだと思っている。市民文化政策の広がりという裾野が基礎にあって都市文化政策が花開くという構造だから、地面がやせ細っているのに上に大きい構造物を建てるなんて話はない。だから、本当は市民文化政策が下で、その上に都市文化政策が花開くというイメージで解釈したら今の話は解消するのではないかと思う。徳島市では全小学校の6割が運動会で阿波踊りを踊る。これは公平平等にやっているように見えるが実は選択している。けれども大多数の子どもが阿波踊りを踊れている。このことが今の徳島の阿波踊り文化を支えている。こういう構造を言いたいわけなので重層的というのは成り立つかなと思う。上下ひっくり返せば分かるかなと。

#### 委員

キーワードとして入れないといけないのではという気がする。多様性を認めるというのもそうだと思うが、今の世の中は単なる水平・垂直だけでは語れない。先生がおっしゃった阿波踊りを小学校からずっとやっていますよというのもひとつの平面図。酒田にも甚句流しがあるが阿波踊りの活気とは残念ながら全然違う。例えば小学校・中学校でもやっているという重層性がないととてもひとつの文化的事業は成り立っていかない。

#### アドバイザー

その構造を計画の序文や前文に書き込めないか。地盤形成ができないと都市の文化も何も出来ないよと。一発花火みたいなことはもうやめて、ちゃんとした栄養と肥料を買って、根付いたものがあって高いレベルの花が咲くんだと。そういう趣旨を入れましょう。

#### 委員

観光協会で来年の祭りをどうしよう、甚句流しをどうしようと意見を集約している。

#### アドバイザー

祭りを支える世代をもっと支えていかないと。

#### 委員

アンケートやこういったものは公表してよいのかどうか。策定の全容を市民に公表する場合、とても大事なものかと思うので。そのあたりの計画というか。

#### 事務局

今のところホームページとかにはまだ出していないが、ホームページにも出していきたい。アンケートの結果についても公表していきたい。非常に良いデータが取れたと思っている。

#### アドバイザー

公開するまでに記述が妥当かどうかもう一度チェックをお願いしたい。本日はどうもありがとうございました。

#### 事務局

今回は素案を提案予定である。いよいよ佳境に入っているのでよろしく願いしたい。

#### (2) その他

なし

#### 6 その他

##### (1) 今後のスケジュールについて

第3回検討委員会 平成29年10月20日(金) 午後7時～ 会場未定  
芸術文化振興計画(仮称)素案を提案予定

第4回検討委員会 平成29年11月20日(月) 午後7時～ 会場未定  
第3回の結果を踏まえた修正案を提出予定

#### 7 閉会